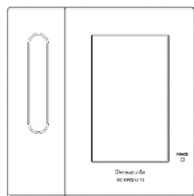


施工説明書  
**KPAS チェッカー** **業務用**  
 品番 XC-KPC01J-11



- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 『取扱説明書（準備編）』に本機の説明を記載していますので合わせてお読みください。
- 免責事項■  
 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本商品は盗難などの防止装置ではありません。したがって設置後、万一の事故・損害が発生した場合でも一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社  
 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号  
 © Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd. 2021 K0921-1101  
 Printed in Japan PYQX1128ZB/J1

**安全上のご注意** **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
 ■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

|  |           |                                  |
|--|-----------|----------------------------------|
|  | <b>警告</b> | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。            |
|  | <b>注意</b> | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。  
 （次は図記号の例です）

|  |              |  |                 |
|--|--------------|--|-----------------|
|  | してはいけない内容です。 |  | 実行しなければならぬ内容です。 |
|--|--------------|--|-----------------|

|  |    |  |
|--|----|--|
|  |    | <b>警告</b>  |
|  | 禁止 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■コードを破損するようなことはしない<br/>                     （傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）<br/>                     傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災のおそれがあります。</li> <li>●コードの修理は、システム納入会社へご相談ください。</li> <li>■本機のそばで火気を使用しない<br/>                     火災の原因となることがあります。</li> <li>■本機を水につけたり、水をかけたり、ぬらしたりしない<br/>                     ショートにより、火災や感電の原因となることがあります。</li> </ul> |

「安全上のご注意」のつづき

|  |      |  |
|--|------|--|
|  | 禁止   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない<br/>                     取り付け部が劣化して、落下など事故の原因となることがあります。</li> <li>■電源を入れたまま配線工事をしない<br/>                     感電の原因となることがあります。</li> <li>■本機の設置は施工業者以外が行わない<br/>                     指定の固定方法で正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となることがあります。</li> <li>●設置方法については、本書をお読みください。</li> <li>■使用を終了した本機は放置しない<br/>                     そのまま放置しておくと、落下など事故の原因となることがあります。</li> </ul> |
|  |      | 分解禁止   |
|  | 接触禁止 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■雷が鳴ったら、本機やコードに触らない<br/>                     火災や感電の原因になります。</li> </ul>  |
|  |      | 必ず守る   |

|  |    |   |
|--|----|---|
|  |    | <b>注意</b>   |
|  | 禁止 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■不安定な場所では使用しない<br/>                     落下によるけがや事故の原因になります。</li> <li>■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない<br/>                     落下などの事故の原因になります。</li> <li>■工事中に本機を落下させない<br/>                     けがの原因となることがあります。</li> <li>■高温になる場所に設置しない<br/>                     装置内部の温度が上がり、火災や感電の原因となることがあります。</li> <li>■金属のエッジを手でこすらない<br/>                     強くこすると、けがの原因となることがあります。</li> <li>■通風孔をふさがない<br/>                     通風孔をふさぐと装置内部に熱がこもり、発熱による火災の原因となります。</li> <li>■カメラ部、ディスプレイ部を強く押ししたり、衝撃を与えない<br/>                     破損や故障、けがの原因となることがあります。</li> <li>■カメラ部、ディスプレイ部を先のとがった物で押さない<br/>                     破損や故障、けがの原因となることがあります。</li> <li>■カメラ部、ディスプレイ部を硬い物でこすったり、たたいたりしない<br/>                     破損や故障、けがの原因となることがあります。</li> </ul> |

施工上のお願ひ

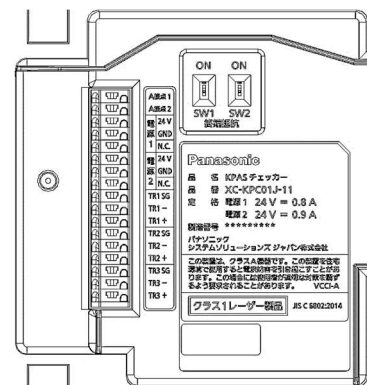
- 施工業者にて施工およびメンテナンスを実施してください。
- 下記の条件を満たす電源装置を使用してください。  
 出力電圧範囲が、21.6 V～28 V であり、JIS C 62368-1 において、出力電圧が、ES3 から絶縁された ES1 として認証された電源装置、または JIS C 6950-1 において、出力電圧が、危険電圧から絶縁された SELV として認証された電源装置で定格出力 60 W（24 V/2.5 A）以上 200 W（24 V/8.3 A）以下のもので、過電流保護が 8.8 A 以下で動作するもの。
- 電源供給元の直近で、アクセス可能な場所に電源コンセントもしくはブレーカーを設置してください。
- 接続の前に定格入力電圧であることを確認してください。  
 DC 24 V 以外の電圧では故障の原因になります。
- 配線の電線接続部は、応力による電線抜けやはずれないことを必ず確認してください。
- 電源線（DC 24 V）および通信線は、耐電圧試験および、絶縁抵抗試験を行わないでください。本機が破損するおそれがあります。
- 強電ライン・AC 100 V 配線と通信線はできる限り離して施工してください。誤動作・故障の原因となります。
- 取り付け強度を確保できない場合には、必ず十分な強度を確保できる補強をしてください。
- 取付金具等専用部品がある場合には、専用部品を使用してください。
- ねじは過度に締め付けすぎないでください。破損の原因となります。
- 床面から 2 m を超える位置に設置しないでください。

- 次のような場所では使用しないでください。  
 誤動作・故障の原因となります。
- 結露が発生する場所
- 塵埃が多い場所や直接噴水される場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 薬品などのガスが発生する場所

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。  
**VCCI-A**

本装置はレーザー利用機器です。  
 ご注意 — ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。分解や修理は行わないでください。  
**クラス 1 レーザー製品** JIS C 6802:2014

本体背面に表示

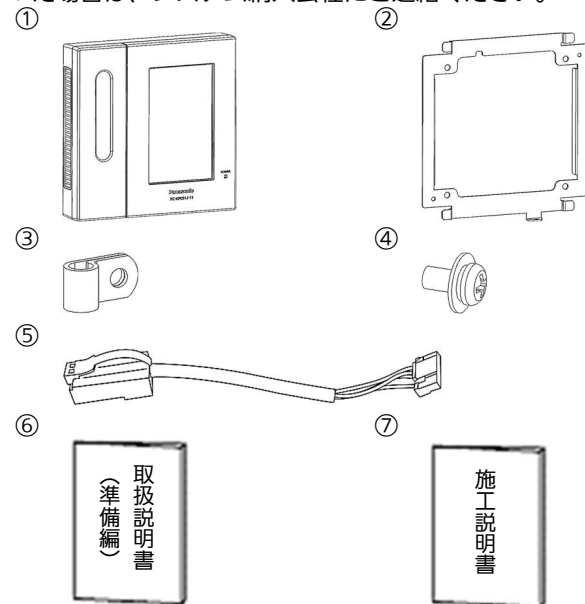


1. 仕様

|          |                    |   |
|----------|--------------------|---|
| 定格入力電圧   | DC 24 V            |   |
| 定格電流     | 電源 1（CPU ボード用）     | 0.8 A   |
|          | 電源 2（USB 機器用）      | 0.9 A   |
| インターフェース | 有線 LAN             | 100BASE-TX ×1 ポート                                       |
|          | 無電圧 A 接点出力         | 1 系統<br>DC 50 V/500 mA 以下（極性無し）                         |
|          | RS-485             | TIA/EIA-485-A 規格に準拠<br>eX-SG 接続用 ×1 ポート<br>オプション ×1 ポート |
|          | 保守ポート              | USB 2.0 ×1 ポート  |
| 電源線      | 接続仕様               | DC 24 V   |
|          | 適合電線               | 銅電線（単線）φ0.9 mm、φ1.2 mm                                  |
|          | 最大配線長              | 100 m   |
| 設置環境     | 屋内                 |   |
| 動作環境     | 温度：5℃～35℃          |   |
|          | 湿度：20%～80%（結露無きこと） |   |
| 質量       | 本体：約 800 g         | 取付金具：約 80 g   |

2. 本体と付属品の確認

お買い上げいただいたパッケージの中には以下のものが入っていません。お使いになる前にご確認ください。万一、不足しているものがあった場合は、システム納入会社にご連絡ください。



| 番号 | 名称          | 数量 |
|----|-------------|----|
| ①  | チェッカー（本体）   | 1  |
| ②  | 取付金具        | 1  |
| ③  | ケーブルクランプ    | 1  |
| ④  | ねじ（M3）      | 2  |
| ⑤  | LAN プラグケーブル | 1  |
| ⑥  | 取扱説明書 準備編   | 1  |
| ⑦  | 施工説明書（本書）   | 1  |

3. 事前準備部品

推奨品

| 名称          | 仕様   |
|-------------|--|
| LAN 中継アダプター | 寸法：W 15 mm x D 30 mm x H 17 mm 以下<br>カテゴリ：5e |

※上記の推奨品は、必ず必要です。推奨品についてはシステム納入会社へお問い合わせください。

別売り部品

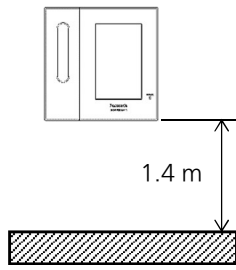
| 名称                      | 品番           | メーカー   | 質量      |
|-------------------------|--------------|--------|---------|
| 露出ベース（屋内用）              | XC-KPA01J-11 | パナソニック | 約 230 g |
| 2 コ用スイッチボックス（カバー別）（金属製） | DS49120      | パナソニック | 約 430 g |

※上記の別売り部品は、取付方法によっては必要になります。「7. 取付方法」を参照してください。

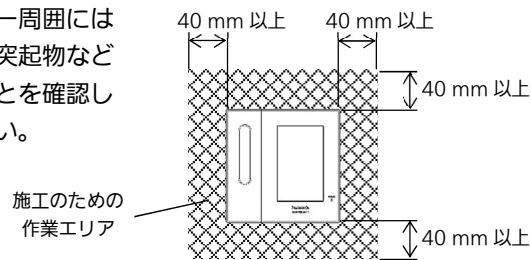


## 4. 取付上のお願い

- チェッカーは床面から 1.4 m の位置を目安に設置してください。[推奨]



- チェッカー周囲には壁からの突起物などが無いことを確認してください。

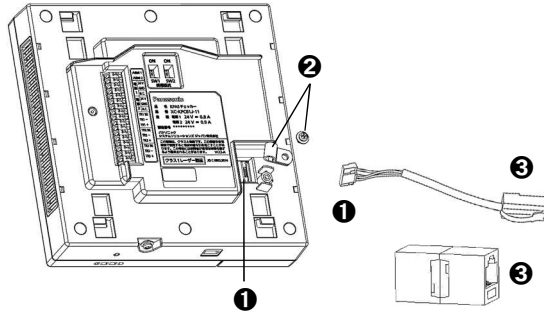


※本体設置時は取付金具への取付作業スペース（下側）が必要になります。

## 5. 本体組立

- 1 本体背面の LAN 用端子に付属の LAN プラグケーブルのコネクタを接続してください。
- 2 LAN プラグケーブルに無理な曲げ、折れができないように付属のケーブルクランプとねじ（M3）で固定してください。（推奨トルク：0.6 N・m±0.1 N・m）
- 3 LAN プラグケーブルの LAN プラグと LAN 中継アダプター（推奨品）を接続してください。

[LAN ケーブル取付説明図]



## 8. 施工後の確認事項

- 上位機器（eX-SG シリーズ用コントロール盤または e-SG シリーズ用ゲートユニット）の電源を入れる前に、電源線、通信線が正しく接続されていることをご確認ください。「6. 配線・設定方法」参照してください。
- 重要 誤結線によるチェッカーの破損および故障は責任を負いかねますので、十分ご注意ください。
- 上位機器の電源を入れて、チェッカーの電源ランプが点灯しない場合は下記を確認してください。
  - ・電源線の極性が正しく接続されていること。
  - ・上位機器からチェッカーへの入力電圧が、チェッカー端子部において、DC 24 V（DC 17.6 V～28.8 V）であること。
  - ・上位機器のヒューズが切れていないこと。
- 上位機器の電源を入れて、カメラのライブ映像がディスプレイに表示されない場合は下記を確認してください。
  - ・通信線の極性が正しく接続されていること。
  - ・終端抵抗の eX-SG 用回路（SW1）、照明コントロール回路（SW2）が正しく設定されていること。
  - ・システムにて初期設定がされていること。
  - ・ネットワークに接続されていること。
- 上記を確認しても異常復帰しない場合は、システム納入会社にご連絡ください。
- 動作確認はシステム全体で行ってください。

## 6. 配線・設定方法

※端子台の配置を十分ご確認の上、結線してください。  
 ※通信線を介して終端に接続されるチェッカーは、終端抵抗を「ON」にしてください。その他のチェッカーは「OFF」にしてください。  
 ※GND 線はシールド線を使用してください。外来ノイズにより不動作・誤動作の原因となります。

**お願い** 結線を行う前に下図「配線図」を十分確認してから行ってください。誤った接続をすると機器が破損するおそれがあります。

電源仕様  
60 W/2.5 A 以上、200 W/8.3 A 以下

終端抵抗

| 番号  | 適用端子         |
|-----|--------------|
| SW1 | RS485 端子 1,2 |
| SW2 | RS485 端子 3   |

＜ストリップゲージ＞

※電線の被覆を指定の長さで剥ぎ取り、端子台部へ確実に差し込んでください。

端子台

| 番号 | 名称         | 配線仕様  |
|----|------------|---|
| 1  | 無電圧 A 接点   | 銅電線（単線）<br>φ 0.9 mm または φ 1.2 mm-2C<br>最大 100 m |
| 2  | 無電圧 A 接点   |   |
| 3  | CPU ボード用   | DC 24 V   |
| 4  | 電源         | GND   |
| 5  | 未接続        |   |
| 6  | USB 機器用    | DC 24 V   |
| 7  | 電源         | GND   |
| 8  | 未接続        |   |
| 9  | RS485 端子 1 | RS485 用 GND                                     |
| 10 | eX-SG 用の入力 | RS485-  |
| 11 |            | RS485+  |
| 12 | RS485 端子 2 | RS485 用 GND                                     |
| 13 | eX-SG 用の出力 | RS485-  |
| 14 |            | RS485+  |
| 15 | RS485 端子 3 | RS485 用 GND                                     |
| 16 | オプションの出力   | RS485-  |
| 17 |            | RS485+  |

※LAN 中継アダプターと LAN ケーブルを接続してください。

## 7. 取付方法

- 1 [露出ベースを使って設置する場合]  
露出ベースおよびチェッカーの総質量は約 1.2 kg です。取付位置の壁面が、十分に強度があることを確認してください。  
チェッカー設置予定の壁面に露出ベース（別売り）を「露出ベースの取付図」の向きでねじ固定してください。  
※お願い 露出ベースを壁面へ固定するねじは、呼び径 4 mm を使用してください。本ねじは壁面の材質に合わせて施工業者様に準備願います。  
取付場所のねじ引き抜き強度は、1 本あたり 65 N [6.6 kgf] 以上必要です。

- 2 [2 コ用スイッチボックスを埋め込んで設置する場合]  
チェッカーの総質量は約 0.9 kg です。取付位置の壁面が、十分に強度があることを確認してください。  
チェッカー設置予定の壁面に穴加工を行ってください。（切欠穴寸法 130<sup>+0</sup> mm×117<sup>+0</sup> mm）

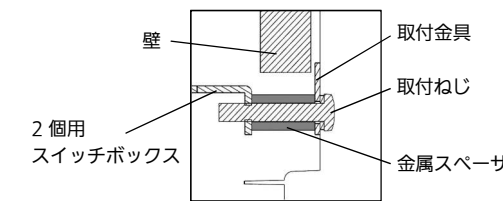
- 2 コ用スイッチボックス（別売り）を取り付けてください。

- 2 取付ねじで取付金具を取り付けてください。  
[露出ベースの場合]  
露出ベース付属のねじを使用してください。  
（推奨トルク：1.7 N・m±0.2 N・m）

- 2 [2 コ用スイッチボックスの場合]  
2 コ用スイッチボックスと取付金具のすき間には M4 用金属スペーサ（推奨寸法：内径 φ4.2 mm、外径 φ10 mm 以下）を挿入してください。長さはスイッチボックスとの空間に合わせてください。（壁からの飛び出し量 0～2 mm 目安）

- 取付ねじは、M4 シングルセムスねじ（ばね座金組込）で長さ（金属スペーサ長さ+5 mm 以上）を使用してください。

（推奨トルク：1.7 N・m±0.2 N・m）



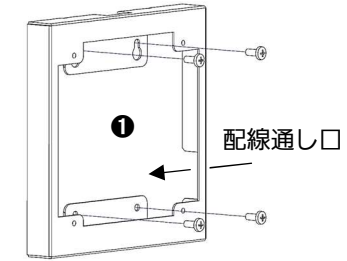
取付ねじ・スペーサ部詳細

- 3 「6. 配線・設定方法」を参考にして、電源線・通信線を結線し、終端抵抗の設定を行ってください。

- 4 本体を取付金具に対して正面から近づけて、配線に無理がかからないように 2 コ用スイッチボックスまたは露出ベースにおさめてください。  
本体背面の穴部と取付金具のツメ部を正面からはめ込み、本体を下に押し下げ、ツメ部に引っ掛けてください。  
LAN 中継アダプターは、図の位置に配置してください。

- 5 本体を付属のねじ（M3）で取付金具に固定してください。（推奨トルク：0.6 N・m±0.1 N・m）

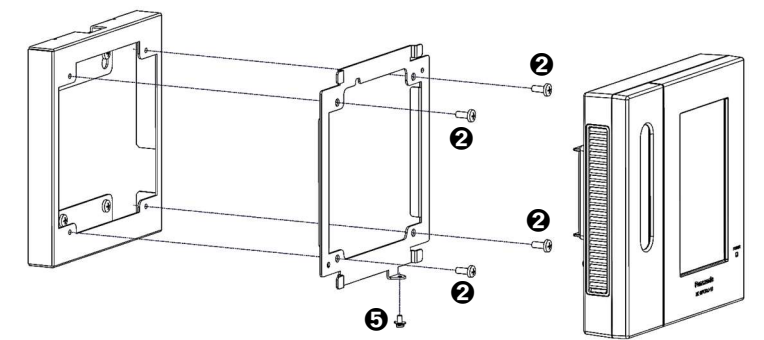
[露出ベースの取付図]



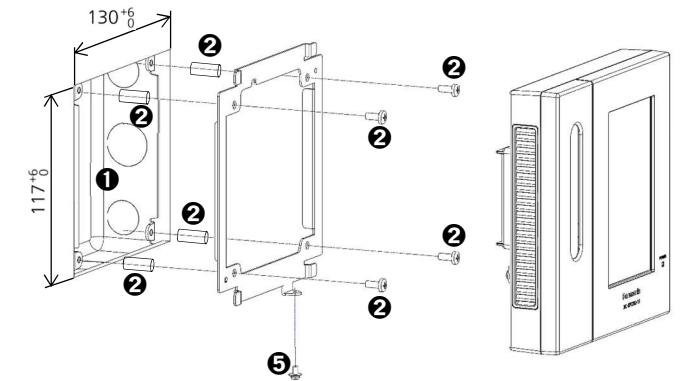
別売り部品

| 名称         | 品番           | メーカー   | 質量      |
|------------|--------------|--------|---------|
| 露出ベース（屋内用） | XC-KPA01J-11 | パナソニック | 約 230 g |

[露出ベースへの取付図]



[2 コ用スイッチボックスへの取付図]



別売り部品

| 名称                      | 品番      | メーカー   | 質量      |
|-------------------------|---------|--------|---------|
| 2 コ用スイッチボックス（カバー別）（金属製） | DS49120 | パナソニック | 約 430 g |

